

マージン率などの情報について

- ① 2026 年 6 月 1 日付け 派遣労働者数 231 人
- ② 2025 年度 派遣先事業所数(実数) 5 事業所
- ③ 2025 年度 労働者派遣に関する料金の額の平均額 25, 932 円(8時間 全業務平均)
- ④ 2025 年度 派遣労働者の賃金の額の平均額 15, 745 円(8時間 全業務平均)
- ⑤ 2025 年度 マージン率平均 39. 3%

$$\text{計算式} \quad \frac{\text{③} - \text{④}}{\text{③}} \times 100 = 39.28\cdots \quad (\text{※小数点第 2 位を四捨五入})$$

⑥ 派遣労働者のキャリア形成支援制度に関する事項

訓練内容

訓練種別	対象者となる派遣労働者 雇入時・派遣中・待機中など	訓練方法 OJT OFF-JT	訓練費用負担額 無償・有償	賃金支給 有給・無給
新人フォロー研修	派遣中	OJT OFF-JT	無償	有給
現場改善研修	派遣中	OJT OFF-JT	無償	有給
品質管理研修	派遣中	OJT OFF-JT	無償	有給
衛生管理研修	派遣中	OJT OFF-JT	無償	有給
リーダーシップ研修	派遣中	OJT OFF-JT	無償	有給

キャリア・コンサルティング相談窓口及び連絡先

相談窓口 加藤または関屋 電話番号 052-823-1115

⑦ その他労働者派遣事業の業務に関し参考となる事項(福利厚生など)

社員寮(独身者)あり ※ペット不可
社員寮からの送迎あり(バスまたはワゴン車)

⑧ 派遣労働者の待遇の決定に係る労使協定を締結しているか否かの別

☐ 労使協定を締結していない

☒ 労使協定を締結している

- ・協定労働者の範囲 (輸送用機器組立の業務に従事する従業員)
- ・協定書の有効期間終期 令和 9 年 3 月 31 日

株式会社名晋

派 23-300073

キャリアアップに資する教育訓練（説明用シート）		派遣業務内容		自動車部品製造業務	
		派遣業務の具 体的内容		部品組み立て、加工業務	
	入職時～1年目	2年目	3年目	4年目以降	
(1)必要とされる 共通のキャリア パス（求める人 材要件）	作業手順書（マニュアル、職場 ルール）に従って、正確に作業 ができる。 職場の課題を発見し、改善提案 を行うことができる。	品質に対する意識を持ち、作業 に取り組むことができる。	職場の安全に対する意識を持 ち、作業に取り組むことが出来 る。 少人数（2～4人程）の話し合い などでリーダーシップを発揮す ることができる。	5人以上の集団において、自分の 役割と責任を自覚した上で、自 分のスタイルでリーダーシップ を発揮することができる	
(2)(1)に必要なス キル、資質等	教わった作業の「振り返り」で 仕事の基本を確立する能力 生産性、PDCA サイクルなど の知識習得	品質管理の知識習得	安全衛生の知識習得 少人数でのコミュニケーション 能力	同じ職場で働く集団のモチベ ーションを向上することができる コミュニケーション能力	
(3)教育訓練内容 （上段：様式3 号－2 具体的な 教育訓練、中 段：上段の内容 のわかる事項、 下段：訓練計画 時間）	現場改善研修	品質管理研修	衛生管理研修	リーダーシップ研修	
	生産性、PDCA サイクルなど の知識習得	モノづくりの基礎、問題解決技 法の基本知識習得	健康障害を防止するための作業 環境管理等の知識を身につける	集団でのコミュニケーション能 力を身に付ける	
	4時間	8時間	4時間	8時間	
	新人フォロー研修		リーダーシップ研修		
	「振り返り」で仕事の基本を確 立させ、意欲の向上を促す		少人数でのコミュニケーション 能力を身に付ける		
	4時間		4時間		
(4)期待される教 育訓練の効果／ 到達すべき知識 ／技量レベル／ キャリアアップ につながる理由	作業手順に従い正確な作業 を行い、それを反復して行 うことで担当業務の習熟度 を高めることができる。 生産性、PDCA サイク ル、「ムダ・ムラ・ムリ」 のダラリの定義の理解を通 じて現場改善に繋げていく ことができる。	モノづくりの基礎、問題解 決技法の基本知識を習得す ることで、より良い製品づ くりのための心構えと行動 を身に付けることができ る。	安全衛生の知識を習得する ことで、自分自身および同 じ職場で働く労働者の健康 障害を防止するための作業 環境管理を身につけること ができる。 少人数での話し合い等を円滑 に進めることができる。	コミュニケーション能力が 向上することで、集団での 生産性を高めていくことが できる。	